

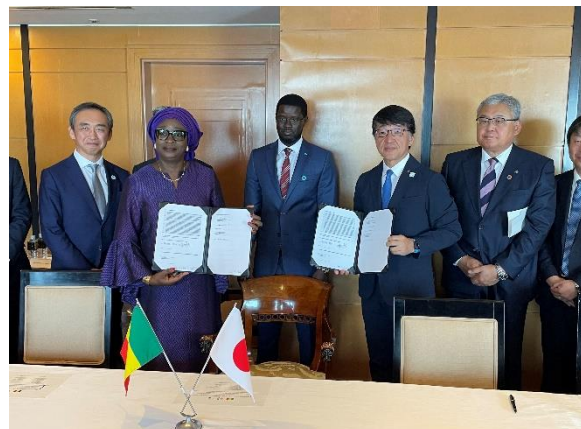
JICA、セネガル政府、CFPT-SJ（セネガル日本職業訓練センター）、豊田通商、ダイキン、NEC、戸田建設、ヤマハと協力覚書を締結

－日本企業のトレーニングプログラムによる産業人材育成を推進

2025年8月26日

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、8月21日、セネガル政府、セネガル日本職業訓練センター（CFPT-SJ）、豊田通商株式会社（豊田通商）、ダイキン工業株式会社（ダイキン）、日本電気株式会社（NEC）、戸田建設株式会社（戸田建設）、ヤマハ発動機株式会社（ヤマハ）と協力覚書を締結しました。署名はJICA 田中明彦理事長により行われ、8月20日から22日まで開催されている第9回アフリカ開発会議（TICAD9）で披露式が開催されました。

今回の覚書は、セネガルの産業人材育成を支援するため、各日本企業がCFPT-SJに対して専門的なトレーニングプログラムを提供することに合意したものであり、JICAはこの合意に基づき、プログラムの具体化と実施を支援していく予定です。これにより、セネガルにおける産業競争力の向上と持続可能な成長への貢献を目指します。



披露式の様子

1984年にJICAの無償資金協力により設立されたセネガル日本職業訓練センター（CFPT-SJ）は、40年以上にわたる日本の継続的な協力のもと、セネガルおよび西アフリカ地域における職業訓練の中核的な教育機関として発展してきました。

近年、セネガルでは産業構造の高度化・多様化が進み、CFPT-SJには市場や産業のニーズに即した高度な人材育成が求められています。豊田通商、ダイキン、NEC、戸田建設、ヤマハといった日本企業は、これまで同地域において事業を通じて産業開発に貢献してきましたが、今後の事業拡大に向けて、より高度な産業人材の育成と確保が重要な課題となっていました。このような状況を踏まえ、JICA、日本企業、そしてCFPT-SJが連携し、産業人材育成に向けた協力を一層強

化することを目的として、今回の覚書締結に至りました。

今回の覚書に基づく連携内容は以下のとおりです：

- セネガル政府が CFPT-SJ に対して協力を行うこと
- CFPT-SJ が各日本企業との協力体制を構築・推進すること
- JICA が日本側およびセネガル側との調整役を担うこと
- 豊田通商、ダイキン、NEC、戸田建設、ヤマハが、それぞれの専門分野においてトレーニングプログラムを策定・実施すること

JICA は、今回の覚書締結を通じて、セネガルの職業訓練分野に対する協力を一層強化して参ります。

【SDGs 達成への貢献】

ゴール 4（質の高い教育をみんなに）

ゴール 9（産業と技術革新の基礎をつくろう）

ゴール 17（パートナーシップで目標を達成しよう）